

第3学年*組 国語科学習指導案			
平成*年 *月*日(*) 第*校時		3年*組教室 指導者 中山 江梨子	
育成する国語の能力	文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。		
単元名	評論文における15分間要約トレーニング		
単元目標	<p>○100字の要約文を記述するために、評論文の構成、展開、要旨をとらえようとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○評論文の構成、展開、要旨を的確にとらえ、筆者の主張を理解する。(読む能力)</p> <p>○文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解する。(知識・理解)〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕のイの(イ)</p>		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	100字の要約文を記述するために、評論文の構成、展開、要旨をとらえようとする。	評論文の構成、展開、要旨を的確にとらえ、筆者の主張を理解している。	文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解している。
取り上げる言語活動	論理的な文章を読んで、書き手の考えを中心とする100字の要約文を書くこと。		
題材(教材)	<p>評論速読トレーニング1500(数研出版社)</p> <p>第1回 芥川也寸志「音楽の基礎」</p> <p>第2回 鈴木謙介「ウェブ社会のゆくえ」</p> <p>第3回 瀬戸口明久「害虫の誕生」</p> <p>第4回 岸田一隆「科学コミュニケーション」</p> <p>第5回 内山節「『里』という思想」</p>		
単元(教材)について	<p>(1)生徒観：大学入試で小論文や記述式問題が課されるため、的確に要約する能力を向上させたいという学習意欲は高い。しかし文章を書くことに慣れておらず、キーワードの把握や文章のつながり方に課題がみられる。</p> <p>(2)教材観：1500字程度の評論文で、筆者の主張とその根拠が具体例を用いてわかりやすく記述されている。100字の要約文を書くことで、評論文の構成、展開、要旨を的確にとらえ、筆者の主張を理解することができるようになると思う。</p> <p>(3)指導観：筆者の主張と具体例を区別する線引き学習、文章の構造図化、100字要約文演習を繰り返す。生徒同士でお互いの要約文を回し読みさせたり、優れた要約文を参考にするすることで、自分の文章を推敲させ、要約力を向上させたい。</p>		
指導計画(学習計画)	主な学習活動		主な評価
	<p>1 評論文を通読し、キーワードやキーセンテンス、文のつながりを示す接続詞に線や記号を書き込み、文章の構成を視覚化する。</p> <p>2 ワークシートにキーワードを書き込み構造図を完成する。</p> <p>3 構造図を参考に筆者の主張と根拠を明らかにした100字要約文を書く。</p> <p>4 4人程度のグループでお互いの要約文を回し読みし、自分の要約文を推敲する。</p>		<p>・(関心・意欲・態度)に関する評価 評論文の構成、展開、要旨をとらえるためにキーワードやキーセンテンス、文のつながりを示す接続詞に線や記号を書き込んでいる。</p> <p>・(読む能力)に関する評価 筆者の主張とその根拠を明らかにした要約文を書いている。</p> <p>・(知識・理解)に関する評価 語句の意味を正しく理解し、ねじれない要約文を書いている。</p>

	<p>5 模範解答，優れた生徒作品を読み，次の参考にする。</p> <p>* 1～4の学習活動を行った後，次の授業時間に5の学習活動を行う。これを週1回のペースで全5回実施する。</p>
--	---

本 時 案 (第2時)		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文における筆者の主張と具体例を区別しようとしている。(関心・意欲・態度) ・筆者の主張とその根拠を読み取っている。(読む能力) 	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
文章の構成を視覚化し，構成図化する。		
<p>1 評論文を読み，読解につながる接続詞を線で囲む。具体例にあたる記述は()でくくり，その説明にあたる筆者の主張に線を引く。 〈3分〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「たとえば」の後に具体例の記述があること，「つまり」「したがって」の後に筆者の主張にあたる記述があることに留意させる。また，具体例の前または後ろにある説明の記述に着目させる。 	<p>【評価規準】 評論文における筆者の主張と具体例を区別しようとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>【評価方法】 線引き学習における記述の点検</p>
<p>2 全体で筆者の主張にあたる記述を各段落ごとに確認する。〈2分〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指名により口頭で確認する。 	
<p>3 ワークシートにキーワードを書き込み構造図を完成させる。〈2分〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に線を引いた筆者の主張からキーワードを抜き出す作業を通して，全体の構成と展開の仕方を理解させる。 	
100字要約文を書き生徒間で交流することで，筆者の主張とその根拠を理解する。		
<p>4 ワークシートの構造図を参考に，筆者の主張とその根拠を100字でまとめる。〈4分〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書きだせない生徒には，頭括型または尾括型どちらか好みの形式を用いて，構造図の文をそのまま抜き出させる。 	<p>【評価規準】 筆者の主張とその根拠を読み取っている。(読む能力)</p> <p>【評価方法】 要約文における記述の点検</p>
<p>5 4名程度のグループで回し読みし，お互いの要約文に対する意見・感想を話し合う。 〈3分〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・席の近いもの同士でグループ編成を行い，文のねじれ等がないかどうかチェックさせる。 	
<p>6 自分の要約文を推敲，訂正し提出する。 〈1分〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・推敲の結果，訂正したい部分がある生徒は，字数にかかわらず二重線で消したり，欄外に書き加えたりして訂正させる。 ・提出した要約文は後日，キーセンテンスと文のつながりの二つの観点から採点して返却する。その際，優れた要約文を書いた生徒作品を提示する。 	